

# 「継体天皇と古代高島」 その謎に迫る

継体天皇即位1500年記念事業

## 高島歴史フォーラム

### 「継体天皇と古代高島」

継体天皇即位1500年記念事業実行委員会では、同記念事業の総合的な高島歴史フォーラム「継体天皇と古代高島」を開催します。このフォーラムでは、継体天皇の出自に関わる古代高島を、各視点から討論し、次世代へ語り伝えます。

▼日時 9月30日(日)

受付：9時30分～  
(16時30分閉会予定)

#### ▼場所

高島市民会館大ホール

▼募集人数 800人

▼参加費 5000円(資料代含)

▼パネリスト

坂元 義種 氏  
(京都府立大学名誉教授)

塚口 義信 氏

(堺女子短期大学学長)

中司 照世 氏

(前福井県埋蔵文化財センター所長)

森下 章司 氏  
(大手前大学准教授)

#### 司会

水谷 千秋 氏

(堺女子短期大学准教授)

▼申込締切 9月25日(火)

※当日は、継体天皇即位1500年を記念して、古代ロマン弁当(1,000円程度)を販売する予定です。併せてお申し込みください。

## 謎の大王 継体天皇と製鉄実験(鉄づくり体験)ウォーキング

オホド王こと第26代継体天皇の父彦主人王は、なぜ高島の地で生活を始めたのでしょうか? その一つの鍵は「鉄」であろうと考えられます。おそらく「鉄」の原材料である「鉄鉱石」をこの地に求めたのでしょう。特にマキノ町牧野地区では、古

代製鉄遺跡も発掘されるなど、古代における高島の重要性が注目されています。そこで今回、継体天皇即位1500年記念事業実行委員会では、「謎の大王 継体天皇と製鉄実験」と題し、製鉄実験を行いながら、継体天皇と鉄をキーワードに古代の謎に迫ります。また、併せて製鉄遺跡を始めとする周辺の史跡やメタセコイア並木、豊かな自然林を観察しながらのウォーキングを楽しみます。ぜひご参加ください。

▼日時 9月22日(土)

9時30分集合 16時30分解散

▼集合解散場所 JRマキノ駅

#### ▼行程

JRマキノ駅→マキノ資料館→マキノピックランド→やまおやじの風景→緑が池→展望台→雑木林→マキノ高原(くちなし谷炭窯遺跡→製鉄遺跡)→JRマキノ駅(歩程約7km)

※マキノ資料館見学の後、鉄づくり体験を行い、湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部によるガイドで初秋のマキノを歩いて巡ります。マキノ高原ではマキノ高原温泉さらさらに入浴して頂くこともできます。

▼参加費 2,000円

※昼食代・資料代・環境整備費等を含みます。(バス代・温泉入浴料は自己負担)

▼申込締切 9月13日(木)



安産もたれ石 (安曇川町田中)

両イベントに参加希望の方は、往復ハガキかFAX、メールにて「高島歴史フォーラム」継体天皇と古代高島」または「謎の大王 継体天皇と製鉄実験」と明記の上、代表者の住所・氏名・年齢・電話番号および参加者全員の氏名(フォーラム参加希望の方は、創作弁当購入希望の有無も記入)をご記入の上、締切日までにお申し込みください。

問・申 継体天皇即位1500年

記念事業実行委員会事務局

Tel:011-9621

高島市新旭町北畑565

(高島市役所商工観光課内)

☎(055)85114

☎(055)85118

Email

shoko@city.takashima.shiga.jp

## 高島市を青少年演劇のまちに!

### 第2回びわこ全国青少年演劇祭開催

いよいよ「びわこ全国青少年演劇祭」が開幕します。全国から集まった演劇に取り組む人との交流を通じて、青少年の健全育成や地域の活性化、さらには高島市を全国に知ってもらうことをめざし開催します。

8月17日(金)から3日間、6つの団体が高島の地で熱いステージを繰り広げます。地元からは「演劇集団つばめ」・「安曇川高校演劇部」が出演します。毎日2団体が公演を行います。青少年の生き生きとした姿をぜひご覧ください。

### 演劇祭がめざすもの

舞台の上で、子どもたちがきらきらと輝く姿は、私たちに感動と希望を与えてくれます。緊張しながら本番を迎える子どもたち、一緒に舞台上に立ち、また舞台を支える大人たち。演劇づくりは仲間づくり。私たちは、びわこ全国青少年演劇祭を核として、子ども演劇教室や演劇講座など、年間を通じて今後さらに事業を広げ、さまざまな取り組みを通じて「青少年演劇と言えは高島市!」をめざします。

子どもたちと一緒に、感動を生み出します。高島市を創造しましょう!

高島市青少年課 ☎(057)44558



### ○ワークショップを開催

演劇祭では、期間中にワークショップを開催します。演劇祭アドバイザーである大峰順二氏(劇作・演出家)の指導のもと、参加者同士の交流と、レベルアップを図る機会を作ります。



### ○フィールドワークの開催

演劇祭に訪れる子どもたちに、高島市の魅力を知ってもらい、体験してもらうため、フィールドワークを開催します。さまざまな体験を通して、高島市の応援団を作ります。



### ○演劇祭はまさに手づくり

この演劇祭を企画・運営するのは、実行委員会の皆さんです。公募により集まった実行委員会では、参加者に楽しんでもらえる、また地域の皆さんに必要とされる演劇祭をめざして、準備を進めています。実行委員会のメンバーはまだ募集集中。ぜひ一緒に、この演劇祭を盛り上げましょう!

### 《プログラム》

8月17日(金) 開場/18時 開演/18時30分	オープニングイベント 安曇川高等学校演劇部 (滋賀県高島市) 演劇制作体V-NET (東京都調布市)
8月18日(土) 開場/18時 開演/18時30分	児童劇団やまびこ座 (京都府京都市) 劇団ミュージカルBeOne (三重県松阪市)
8月19日(日) 開場/10時 開演/10時30分	雪ん子劇団 (富山県黒部市) 演劇集団つばめ (滋賀県高島市) クロージングイベント

### ◆入場料

全公演共通 一般：2,500円 高校生以下：1,500円  
1日入場券 1,000円

## 子ども演劇教室



藤樹の里文化芸術会館では、演劇に適したホールの特性を活かし、子ども演劇教室を開催しています。今年3月に公演を行った「チョコレート」を取り戻せ!」では、演劇に初挑戦した子どもたちが堂々と舞台上で演じました。本番終了後、達成感に感極まり、泣き出してしまった子どもたち。演劇教室を通じて、こんな感動体験の輪が広がることを願っています。